

岩手大学農部附属動物医学食品安全教育研究センター (FAMS)
食の安全部門研修会

「ルーティン手法になった今だからこそ学びたいリアルタイム PCR 法」
開催要項

I. 目的

1983 年の 9 月のある金曜日、米国 Cetus 社の Kary Mullis が愛車ホンダ・シビックでドライブしている時に DNA の特定領域を短時間に増やすというアイデアを思いつき、その後、日系アメリカ人の Randy Saiki によって PCR 法が開発されました。その特許を購入したロシュがこの技術をウイルス診断用に応用するや PCR 法は医学分野をはじめとする様々な分野で使われ、今ではなくてはならない手法になっています。21 世紀に入り PCR の遺伝子増幅量をリアルタイムでモニターでき、かつ電気泳動が不要で迅速性と定量性に優れているリアルタイム PCR 法が開発され、瞬く間に普及し、現在では核酸、特に病原体遺伝子の検出/定量、遺伝子診断等には欠かすことの出来ない手法になっています。

本研修会では、リアルタイム PCR 法についてその原理と実際について講義と実習を行います。ルーティンの技術になった今だからこそもう一度リアルタイム PCR 法について学び、家畜衛生・食品衛生、感染症分野の研究/検査業務に役立てて頂ければ幸いです。

II. 開催日時・場所

- (1) 日 時： 令和元年 11 月 28 日(木) 10:30 ~17:15
- (2) 場 所： 岩手大学総合教育研究棟 (生命系) 2 階 スペース F

III. 募集人数

15 名

IV. 対象者

家畜衛生、食品衛生、感染症検査、食品の品質管理に係る方

V. 研修日程表及び内容

講師：サーモフィッシャーサイエンティフィック・ライフテクノロジーズジャパン株式会社
テクニカルサポート 永野 麻奈美 氏

講義+実習

10:30-10:35 開講式

開会の挨拶：FAMS 副センター長 村上 賢二

10:35-11:00 リアルタイム PCR の原理

11:00-12:00 リアルタイム PCR ラン前のセットアップ→ラン開始まで

12:00-13:30 休憩 (事前用意のプレートでランを実施)

13:30-14:15 反応系調整の Tips について

14:15-14:30 休憩 (→本体からラン終了後のデータを回収)

14:30-15:30 ラン終了後のデータ解析

- 15:30-16:00 アプリケーションや追加機能のご紹介
(マルチプレックスや miRNA などと、クラウドのご紹介)
- 16:00-16:30 機器本体での操作方法→実機の前で
- 16:30-17:00 質疑応答
- 17:00-17:15 閉講式・アンケート記入
- 18:00- 情報交換会 (希望者のみ、場所は当日お知らせいたします。)

VI. 受講料

3,000 円 (資料代)

※申込受付後、郵便局の払込取扱票をお送りいたします。請求書払い (銀行振込) をご希望される場合はその旨お知らせください。

※研修会終了後に情報交換会を開催いたします。参加される方は、別途参加費 (4,000 円程度) が必要になります。

VII. 受講証書

受講者には、岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター長が発行する受講証書を授与します。

VIII. 申込方法

別紙参加申込書により、下記連絡先へ FAX 又はメールにてお申し込みください。

IX. 申込締切

令和元年 11 月 25 日 (月)

主催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター (FAMS)

申込・連絡先：

〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8

岩手大学農学部地域連携推進室 担当：芳賀・岡田

TEL：019-621-6108 FAX：019-621-6107

E-mail：fams@iwate-u.ac.jp

電話受付時間：月～金 (祝祭日を除く) 10:00-17:00